

5. 今月のトピックス「果樹カメムシ類について」

◆果樹カメムシ類とは？◆

果樹カメムシ類とは、果樹を加害するカメムシの総称です。三重県で重要な加害種は、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの3種です(図1)。



図1 三重県の主な果樹カメムシ類
左から、チャバネアオカメムシ、
ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ

◆生態と被害◆

成虫の寿命は約1年です。7月下旬から新成虫が羽化し、成虫で越冬し、6月から産卵します(図2)。

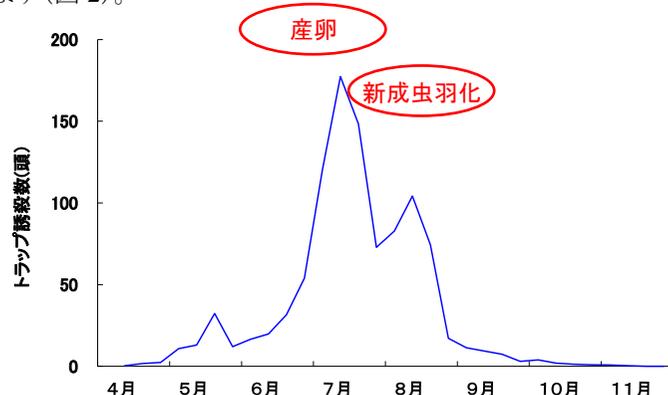


図2 チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの
平年飛来数(松阪市嬉野川北町)
※平年は過去10年(2004~2013年)の平均値

カメムシにとって、果樹は決して好物とするエサではありません。発生量が多くても山にヒノキやスギの毬果など好物のエサがあれば、果樹園への飛来は少なくなります。しかし、これらのエサが不足している場合は、果樹園へ飛来し、加害を行います。

モモやビワは5~6月に、カキは6~10月に、カンキツは9~10月に加害を受けます。ナシは、5月から収穫期までの長期間加害を受けます。



図3 ナシの加害痕
吸汁部分が凹む



図4 カキの加害痕
吸汁部分がスポンジ状となる



図5 カンキツへの飛来



図6 カメムシの吸汁によるカンキツの落果被害(無防除園)

◆防除対策◆

- 1) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。山林に近い圃場では特に注意が必要です。
- 2) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。
- 3) 果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。近隣圃場で調整し、広い範囲で散布日を合わせて一斉防除することにより効果が高くなります。